

Q & A

よくあるご質問

Q 会計データだけでCO₂排出量を算定できるのはなぜですか？

A 事業活動でのCO₂排出量は「活動量」×「排出原単位」で算出されます。活動量は、事業活動のために消費したモノやサービスへの支出として表れ、具体的な支出額が勘定科目に仕訳されて会計データに記録されます。よって、支出の金額を、勘定科目に見合う適切な排出原単位と掛け算すれば、CO₂の排出量を算出できます。

Q CO₂排出量の算定は、どれくらい楽にできますか？

A 貴社が会計データの仕訳で用いている勘定科目に対し、システムに内蔵されている排出原単位のうち適切なものを「紐づけ」する作業が、初回の算定時に必要です。2回目以降の算定では、貴社の仕訳ルールが変更されない限り「紐づけ」が不要になるため、マウスをクリックするだけの単純作業で算定結果を得られます。

Q SCOPE3の算定はなぜ必要なのですか？

A 国を挙げてカーボンニュートラルを目指している中、企業には、自社の工場やオフィスからのCO₂排出量の把握にとどまらず、自社の活動に関わる他社からの排出（Scope3）を含むサプライチェーン全体のどこで排出量が多いかを特定し、できる限り有効な削減策を講じることが求められているためです。

ファストカーボンサイト
<https://www.ds.j.co.jp/fast-carbon/>



お問い合わせ



お申し込み



DS ディエス ジャパン

大阪 株式会社ディエスジャパン

〒578-0982 大阪府東大阪市吉田本町3-3-45
TEL:072-963-0044

東京 株式会社東京ディエスジャパン

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-16-20
TEL:03-3863-7911



<https://www.ds.j.co.jp/>

●ファストカーボンの前身のシステム※は、国際規格(ISO14064-3)に照らした妥当性について、第三者機関の確認を受けています。※ファストカーボンの旧称は環境帳です。「環境帳Ver.2.0」のCO₂排出量算定システムは、ISO14064-3:2019を参考に第三者より妥当性の確認を受けています。●本システムで算出するCO₂排出量は、仕訳データや画面から入力した燃料等の活動量を基に計算した概算値であり、企業のCO₂排出量を証明、保証するものではありません。ファストカーボンは、株式会社バックキャストテクノロジー総合研究所が開発・提供するクラウドサービスです。

 Backcasting Technology



ファスト カーボン

いつもの **会計データだけで**
CO₂排出量を **楽々算定** できる
クラウドシステム





ファスト カーボン+ で CO2排出量を楽々算定



ココが

すごい!

会計データだけで算出する簡単ステップ



いつもの会計ソフトから
総勘定元帳をCSVファイルで出力



テンプレートにコピー＆ペーストし、
システムにアップロード

即座に排出量を表示

見やすい
管理画面



POINT 01

各支店の合算で
数値を管理



拠点ごとにランキング化、
分析も可能



社内全体で
共通認識が持てる

POINT 02

勘定科目別で
排出量が見える



勘定科目別のCO2排出量を
ランキング化



円グラフで割合を確認できる

POINT 03

削減目標値を
設定できる



折れ線グラフで目標値を確認



棒グラフで進捗がわかる

専門知識不要、世界標準!

01 お手軽
専門知識不要!

会計データだけで算定
使い慣れた会計ソフトのデータを一括で
読み込み、取引先によるものを含む算定
可能なCO2排出量を、SCOPE・カatego
リーに分けて即座に算定出来ます。

02 信頼でも
世界標準!

第三者機関が妥当性を確認
国際規格(ISO14064-3)に照らした妥当
性について、第三者機関の確認を受け
ています。対外開示やSBT認定の申請に
使えます。

03 用途に
合わせたプラン

多彩なプランとオプション
業界最安水準のプランから、対外発信に
使えるレポートを提供するプラン、中小企
業版SBT認定の取得を支援するプラン、
なんでもお任せいただくプランをご用意。

上流・自社・下流のSCOPE1～3まで対応!

